

2021年度 第1回放送番組審議会 議事録

開催日時 2021年10月27日(水) 14時から16時

開催場所 三次市生涯学習センター 3階ホール

出席者委員 植田千佳穂・山岡幸子・上谷一巳・宗清弘樹・有田雅俊・中宗久之
・中菊圭子・内藤隆弘・石田睦子

欠席者委員 益田和彦・添田龍彦・前田茂

説明員 株式会社三次ケーブルビジョン
林代表取締役社長・日野常務取締役・植木管理グループリーダー
向井制作課長・猶崎制作グループリーダー・福永制作グループ員

- 1 開 会
事務局 定刻になり事務局が開会を宣言。所管変更に伴い、三次市情報政策監の上谷様、三次市住民自治組織連合会会長の有田様、2名の新委員に対して放送番組審議会委員の委嘱状を交付。任期は、本年の9月1日から前任者の残任期間となる2022年8月31日までとする旨を伝える。
- 2 社長挨拶 代表取締役社長が開会にあたって挨拶。審議していただく『みよしの企業』は、今の子どもたちが将来地元に戻り、地元の企業で働いてみたいと思えるような番組を目指した。皆様のご意見を頂き、より良い番組にしていきたいと述べた。
- 3 会長挨拶 続いて、植田会長が挨拶。コロナが続く現代社会の中で、今の子どもたちが何を考え、何を伝えていくことが大切かという観点も考慮していただき、委員の皆様の忌憚のない意見を頂戴したいと述べた。
- 4 事務局 本日の出席状況について報告。本日は益田和彦・添田龍彦・前田茂様3名の委員が所用のため欠席。放送番組審議会委員12名中9名のご出席をいただいております。放送番組審議会規則第6条2項により有効に成立していることを報告する。
- 5 新委員紹介 上谷委員、有田委員が就任の自己紹介を行った。

- 6 社側紹介 役員・社員が自己紹介を行った。
- 7 審 議 審議に入る。皆様のご協力を頂きながら円滑な進行に努めてまいりたいと述べ、審議内容となる「みよしの企業」について事務局からの説明を求める。
- 会長(司会)
- 番組担当者 制作グループ員の番組ディレクターが6月29日に放送した『みよしの企業』カイハラ産業株式会社について、配布資料に基づき企画意図及び番組概要、取材上の難しさなどの説明を行う。(事前にDVDを送付した。)
- 会 長 (司 会) 視聴いただいたDVDの内容について、忌憚のない意見を願います。
- 委 員 紹介した企業の最新テクノロジーを駆使した技法は圧巻。短い時間の中で見やすい構成であった。地元の世界シェア工場を有する企業があることを認識する良い内容。一方、製造工程を紹介する場面では環境の良い一部の工程のみの紹介であったので、少しでも全工程の紹介があればよかった。また、3交代勤務の状況など福利厚生を紹介があってもよいと感じた。映像の中にモザイク処理の部分が多く見られたのが、見にくいと感じた。インタビューでは三次高校と日影館高校の卒業生が答えていたが、三次青陵高校の卒業生にもインタビューが聞けたら良いと思った。
- 社 側 工程についての紹介では、企業側からの制限があったため一部の工程紹介となった。モザイク処理についても映しても問題ない範囲で撮影していたが、VTRチェック後に本社からの承認が得られずモザイク処理をしてほしいと要望が出た。今後、撮影制限の範囲が変更しないようにしっかりと企業側と調整が必要と感じている。
- 委 員 デニム生地製造とこだわりなどの紹介があり興味のもてる内容であり、しっかりとリサーチをした中での紹介だったと感じる。モザイク部分については、少し残念ではあるが、モザイク処理しても、見せることで少しは現場の様子が伝えることができている。中高生にとっても興味のもてる内容だった。ただ番組内の紹介が機械に偏っていたので、色々な作業に携わっている他の多くの人達の姿が紹介できていればより良かった。
- 社 側 全体的な構成の偏りについては、企業側から新商品の紹介を入れたい

というところが強くあって、番組尺の都合上、工程が一部になったり、機械に偏った紹介になったりしてしまった。こういった点は、今後の企業側との打ち合わせで調整しながら改善していきたい。

委員 カイハラ産業の新商品については大変興味があった。12分という番組の長さは丁度良く、地元の高校卒業生が出演している姿はよかった。福利厚生面をもう少し入れて欲しかった。打ち合わせから取材、放送までどれくらいの期間がかかっているのですか？

社側 取材依頼の前段階から放送完了までは、およそ2カ月間程度。撮影前に打ち合わせを1度させていただき、工場内を見学させてもらい、撮影場所の範囲などを事前に確認してから撮影を行っている。そのため当社が放送している他の特集に比べると、しっかりと打ち合わせ時間が必要なので、時間のかかる特集となります。

委員 撮影の中で、生地が紺色だったので、画面が見えにくい部分が一部あった。吉舎工場も製造以外にも運送など色々な部門があるので、組織図的なものがあると全体像が見えるのではないかと感じた。12分という時間があったという間で、三次の企業のPRができる良い企画と感じた。

社側 福利厚生や組織図などは、これまでの企業紹介では伝えていない要素でしたので、今後の企業紹介では参考にして活用していきたいと思います。製造工程の映像については、企業によっては自社で作成した企業紹介映像があるので、そういった資料映像等も活用して極力映像で伝えられるように努めていきたい。

委員 短い中できれいにまとめられていたが、中高生が見て、わかりやすく、笑顔になる映像があれば良いと思った。楽しくないところには中高生の関心は向かないので、楽しさが見える映像があると良いと感じた。この番組はキャリア教育の一助になるので今後の番組の活用として中・高校等にたいして、どうされるのか？番組の中では男女での紹介や子育てなど、色々と配慮がされている様子を感じた。この放送回数が3社目と聞いたが、この他にはどんな企業を紹介したのか？

社側 『みよしの企業』のこれまでの放送について、きのう（10月26日）までに5回放送が終了。1回目が四拾貫町の「JMS三次工場」、2回目

が三良坂町の「みうら義肢製作所」、3回目が吉舎町の「カイハラ産業」、4回目が畠敷町の「JOB」、5回目が西酒屋町の「のぼ動物病院」。取材先の選定については、時事にあった企業や新商品開発、移転して新たな展開があった企業等にスポットを当て取材をしている。

今後の番組活用については、1年以上経過した際に、これまで紹介した企業をダイジェストにまとめ、DVDにして各中学校・高校に配布し、就職ガイダンスの資料に活用してもらえればよいと思い、この特集を始める際に考えていた。また、各高校のホームページ等からも検索して見られる様にしていけたらと思っている。

委員 番組で紹介された新商品を見て驚いた。番組尺はちょうど良い。内容の面では、食堂などを取材し、働いている人たちの休憩している和やかな場面があれば良かった。さらに言えば、大きな企業ではスポーツなどに取り組まれているところもあるので、そういった面も紹介すれば良いと感じた。

社側 職場の雰囲気が伝わる場面を取材することは、これまで無かった。今後、企業紹介の回数を重ねていくなかで、そういう和やかな場面も意識して取材するようにしたい。また、レクリエーションなどの取組についても企業の魅力を伝える一つとして考えていきたい。

委員 カイハラ産業自体は知っていたが、映像を通して見ると改めて感心して、10回以上見返した。こういった企業が三次市内にあることが誇らしいと感じた。この企画を最初に紹介するという点で、今回の内容は密であって適切なのではないかと思う。今回の企画では若い先輩方の意見があったが、今後インタビューするなかでは、10年以上勤続している方の声などがあると、就職を考える人たちの参考になるのではないかと思う。

社側 構成については、企業が伝えたい要素、視聴者に伝えたい要素、取材者が伝えたい要素、この3つの要素をそれぞれにすり合わせて適度に振り分けて、放送することは、とても難しいと感じながら編集をおこなっている。

副会長 企業紹介をする番組としてはとても良い企画。社会見学をしているような気分で興味が湧いてくる番組だと思う。働いている人がやりがいを

もって働いているといった内容であって、それが映像を通して聞けるところが良い。この企画は、中高生だけでなく親世代にも三次にある企業を知る機会となり、非常に良い事である。番組尺もちょうど良いと感じる。

社 側 改めて企業を紹介することで、取材者側にも新しい発見がある。カイハラ産業では、10数年前にはなかった全く新しい取り組みを行っていた。三良坂町の義肢製作所では、プロバスケットボールチームのサポートをしているなど、地域で活躍する企業を知る機会にもなっており、今後その活動をニュースなどでも紹介していきたい。

会 長（ 司 会 ） 私も今回の番組の制作意図は、今の時期に面白い企画だと思う。改めて取材することで新しい試みをしていく企業こそが、その時代に即応できる企業であり、生き残れる企業であることの証明だと感じる。そうした点を再度取材して引き出していただければ、良いことだと感じる。他のテレビ局でも企業を紹介する番組があるが、1回の放送で全工程を紹介することは難しいので簡単に全工程を紹介するような場面があれば、わかりやすかったと感じた。モザイクは必要最小限であれば致し方ない事であり、モザイクがあることで企業が素晴らしいことに挑戦されているのかという気がした。ただ番組の中では細やかな映像が撮っており、番組としては面白かった。番組展開が早すぎるところは気にはなった。今後の展開として、中高生以外にもIターンやUターンしてくる人たちにとっても良い参考になるのではないかと感じ、全体としては面白く見せていただいた。この他にご意見はありませんか？

委 員 継続することは難しいと思うが、今回紹介した企業が第2弾、第3弾と続くことで、三次市発展のために学ぶことが多いと思う。今後、何か取り組み方や人材育成の面で、伝えて頂けるものがあれば教えて頂きたい。

社 側 三次市内にはまだ紹介できていない企業が数多く残っているので、第2弾、第3弾と放送するのは随分先のことになるが、特集以外にもニュースなどで紹介することは、日々の番組内で行っている。今後も紹介させて頂いた企業の節目となる時期に今回紹介した企業映像を基に、さらに進化した様子を紹介していきたいと思う。

委員 先ほど意見のあったIターン、Uターンをする人たちにも、こういった企画の取り組みや映像を提供してもらいたい。

会長（司会） 皆様の意見が出揃ったようですので、最後に事務局から何かありますか。

社長 皆様から貴重なご意見を頂きました。今回見て頂いた放送内容が、子ども達にどう伝わるかを今後、注視していかなくてはならないと思います。企業側から見れば、良い面を伝えるいい機会かもしれないが、視聴対象となる子どもたちにとっては必ずしもそうではない。視聴するの
が、子ども達が対象ということであれば今後企業側も紹介する内容が変わってくるのではないかと思います。子供たちが視聴の対象であることを視点において、企業側も作り手側も共通認識の下で制作して、三次の企業の素晴らしさを伝え、将来は地元で就職したいと思える様な番組にしていくことが必要であり、本日の意見を参考にさせてもらい、よりよい番組づくりをしていきたいと思えます。引き続きよろしく願いいたします。

8 閉 会 事務局より本日のニュース番組「情報ストリート、あっちこっち三次」で、この審議会の模様を放送し、議事録をHPに掲載することを伝え、次回、第2回目の番組審議会は2月下旬開催予定の旨を伝えて閉会した。

以上